

米奥小だより

令和6年4月25日(木)

No.4

米奥小学校 校長 北添 忠

〇鯉のぼりの設営、ありがとうございました

雨が多い不安定な天気が続く中、4月20日(土)は晴れ、鯉のぼり設営作業を行うことができました。8時30分に職員室前に集合したあと、川で丸太の鯉のぼりなどを設営するグループと、橋に不織布の鯉のぼりを設営するグループに分かれて作業を行いました。

一斗俵沈下橋では、丸太の鯉のぼり6本をロープでつないだものを、みんなが一斉に四万十川に投げると、3m以上の水しぶきが上がり、見ごたえがありました。それ



を数回繰り返した後、小さな鯉のぼりを上空に泳がせて完成しました。

橋では、歩道に不織布で作られた鯉のぼりを、色のバランスを考えながら並べていきました。次に、米奥小学校側から順番にロープを張り、それに鯉のぼりを取り付けていきました。一通り鯉のぼりを泳がせたあと、ロープの張り具合を調整して完成しました。



一斗俵沈下橋での設営が終了したあと、川での作業グループは米奥小学校横の河原に移動し、大きな鯉のぼりの川渡しと児童が絵付けを行った丸太の鯉のぼりを四万十川に泳がせる作業を行いました。どちらも、四万十川にワイヤーロープを渡す必要がありますが、最初は、ドローンを使って細いロープを対岸まで渡



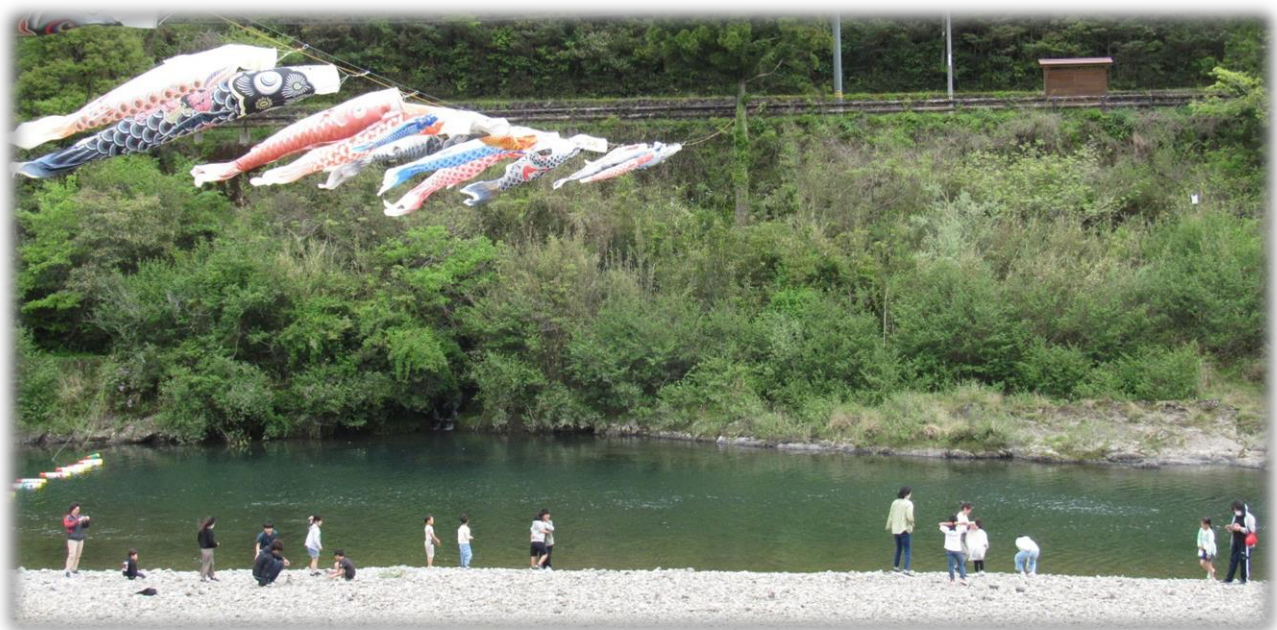
し、徐々に大きなロープにしていきました。風が少し吹いており、ドローンが飛べるのか心配しましたが、作業は順調に進みました。ワイヤーロープが張り終わると、それぞれの鯉のぼりをワイヤーに沿わせて順番に泳がせていき、設営は終了しました。

○河原で昼ご飯

参観日の昼食は、四万十川の河原でお弁当を食べました。4時間目の授業が終わると児童らがお弁当を持って玄関前に集まってきました。その後、歩いて河原まで移動しました。学校横の河原には、自分たちが絵付けをした丸太の鯉のぼりが四万十川を泳ぎ、上空には、薄曇りのまぶしい空を大きな鯉のぼりが泳いでいました。児童らは思い思いのグループで場所を決め、弁当を食べました。

その後、数名の児童が四万十川の水面に向けて石を投げ始めました。いわゆる「水切り」です。それに気づいた多くの児童が、思い思いの石を手にし、水切りや水しぶきを上げたりと、河原での昼休みを楽しんでいました。

広すぎず狭すぎず、周りの山も高すぎないちょうど河原が学校の横にある。水があって、大小さまざまな石があって、一つ一つの石にはそれぞれ個性があって。子どもたちの感性しだいでいろいろな遊びができ、体を脳を刺激する。安全を確保すべく注意をはらいながらも、



健全な成長を想像していました。